

# 日高支部だより

2025.vol 1

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和7年 1月 24日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017

日高郡新ひだか町静内御幸町

1-1-42 静内産業士建機内

TEL 0146-42-1395

FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## 令和7年度（第71回）日高支部通常総会 開催

～事業計画（案）ならびに予算（案）を確認～



日高管内の会員26名が出席



針ヶ谷副会長による講演



懇親会の様子

### 令和6・7年度 役員体制

|       |        |         |
|-------|--------|---------|
| 支部長   | 山下 聡   | (新ひだか町) |
| 副支部長  | 村田 貞光  | (新冠町)   |
| "     | 菊地 峰生  | (えりも町)  |
| 事務局長  | 高橋 幸二  | (新ひだか町) |
| 理事    | 門野 智   | (日高町)   |
| "     | 津川 司   | (平取町)   |
| "     | 池 均    | (新冠町)   |
| "     | 古川 昌広  | ( " )   |
| "     | 森 勝利   | (新ひだか町) |
| "     | 森 正広   | ( " )   |
| "     | 三嶋 克昭  | ( " )   |
| "     | 田村 勝弘  | ( " )   |
| "     | 高田 良一  | (浦河町)   |
| "     | 大谷 晃平  | ( " )   |
| "     | 小田 真   | ( " )   |
| "     | 田頭 教行  | (様似町)   |
| "     | 岡崎 忠智  | (えりも町)  |
| 監事    | 谷山 茂樹  | (新ひだか町) |
| "     | 齋藤 智光  | (新冠町)   |
| 顧問    | 土井 宗太郎 | (浦河町)   |
| 相談役   | 木原 宗孝  | (新ひだか町) |
| "     | 池田 尚登  | (様似町)   |
| 青年委員長 | 亀田 誠   | (新ひだか町) |
| 副委員長  | 渡邊 忍   | (様似町)   |
| "     | 酒井 高史  | (浦河町)   |
| 幹事    | 磯田 良和  | (日高町)   |
| "     | 栗山 匠太  | (新冠町)   |
| "     | 西村 修司  | ( " )   |
| "     | 伊藤 涼輔  | (新ひだか町) |
| "     | 隅谷 耕太郎 | ( " )   |
| "     | 大野 啓輔  | (浦河町)   |
| "     | 松田 剛之  | ( " )   |
| "     | 池田 雅志  | (様似町)   |
| "     | 岩間 孝太  | (えりも町)  |

3月に開催予定の（一社）北海道建築士会通常総会に先立ち、1月17日（金）、新ひだか町のホテルローレルにて、日高支部通常総会が開催されました。

山下 支部長によるあいさつの後、事務局より①定数の報告及び会員の動静、②令和6年度事業報告、③令和6年度収支決算報告、④監査報告の4件の報告事項、①令和7年度事業計画（案）、②令和7年度収支予算（案）の2件の議案が提案され、すべて承認されました。総会終了後は針ヶ谷副会長をお招きし、全国大会鹿児島大会での「まち歩き」についてご講演いただきました。

今年は全道大会日高大会後の年となり、中標津大会をサポートできる体制となっていますので、中標津大会開催にあたっては、御礼の気持ちも兼ね一緒に大会を盛り上げにいきましょう。

講演後は懇親会が執り行われ、山下 支部長によるあいさつに引き続き、大谷 理事の乾杯後、懇談をはさみながら、若手2名による豪華景品が並ぶ恒例のBINGO大会を披露しました。木原 相談役の締めのあいさつによりつつがなく総会を終えることができました。

# 日高支部だより

2025. vol. 2

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和7年 4月 5日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017

日高郡新ひだか町静内御幸町

1-1-42 静内産業士建内

TEL 0146-42-1395

FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## 全道青年委員会連絡会議 開催

～『未来を紡ぐ青年建築士』～



針ヶ谷 副会長=挨拶



吉田 青年委員長=報告



札幌市教育文化会館=会場



隅谷 幹事の発表=ワークショップ

3月29日（土）、札幌市教育文化会館 305研修室で、令和7年全道青年委員会連絡会議が開催され、全道60名の各支部青年委員会役員等が参集し、当支部からも亀田 青年委員長、隅谷 幹事、外山 会員の3名が参加しました。

この会議は、各支部青年委員長をはじめとする全道の青年委員参集のもと、一年間の青年委員会の事業方針、事業計画及び予算について報告するとともに、建築士の育成を目的とした研修会等を行い、青年層の資質の向上を図る場として開催しています。

会議の後、本年についても研修会を開催。「未来の建築士会」というテーマでワークショップが行われ、組織の活性化や若手参画の促進、地域との関わり方といった課題を共有し、現状からあるべき姿、未来像という流れで活発な意見交換が行われました。「建築士会にかかわる目的は何か」、「今後の役割は何か」建築士会が目指すべき方向性を青年目線で成果を出し合う貴重な学びとなりました。



懇親会の様子

懇親会では、すでに恒例となった建築に関するクイズ大会をまたまたグレードアップして開催。参加者たちは本部青年委員が作り出す超難問に挑戦。一級建築士試験で出題された写真問題から実務に通ずる問題まで頭を使った楽しいひと時を過ごすことができました。



# 日高支部だより

2025. vol 3

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和7年 4月26日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017

日高郡新ひだか町静内御幸町

1-1-42 静内産業土建欄内

TEL 0146-42-1395

FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## 第1回道南ブロック協議会 開催

～（仮称）苫小牧市民ホール建設現場見学会～



現場事務所での概要説明



現地での説明



記念撮影＝現場ゲート前



協議会の様子



懇親会の様子

4月19日（土）、本年度最初の道南ブロック協議会が苫小牧市で開催され、亀田 青年委員長が出席しました。

会議に先立ち、苫小牧市旭町3丁目で建設中の（仮称）苫小牧市民ホールの新築現場にお邪魔し、建設現場の見学を行った後、苫小牧市民会館にて会議を行い、当年度の事業計画などを確認しました。

本施設は、現存する複数の公共文化施設の機能を統合・更新する目的で整備されています。プロジェクトの目標テーマとして「親近感と愛着を持てる憩いのプラザ（公共の広場）～苫小牧市民のサードプレイス～」と掲げられています。敷地面積は約6,960㎡、延床面積は約12,277.5㎡。構造はSRC造（一部RC・S構造）の4階建て。最高高さは31mとなります。ホールAは収容席数約1,200席。ホールBは収容席数約400席（最大収容時約700～800名規模の利用も検討）。その他の機能としてギャラリー、アトスペース、スタジオ（複数）、ルーム類、ピアノルーム、和室など。敷地内には「まち・ひと・みどりをつなぐ交流とにぎわいの場」として、歩ける（ウォーカブル）まちづくりの拠点を目指し、緑や広場、遊び・休憩スペースなどが計画されています。2025年11月ホール完成を目指し建設現場は熱気にあふれていました。

終了後には、懇親会も開催し、さらに親睦を深めました。



# 日高支部だより

2025. vol 4

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和7年 5月 30日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017

日高郡新ひだか町静内御幸町

1-1-42 静内産業土建欄内

TEL 0146-42-1395

FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## 青年建築士の集い（上富良野大会）

～十勝岳火山砂防施設の見学とD I G開催～



見学用バス車内の様子



D I Gの様子



十勝岳火山砂防施設



菊地 担当常務理事＝講評



懇親会の様子

5月24日（土）、上富良野町保健福祉総合センター かみんで、青年建築士の集い上富良野大会が開催され、全道各地から56名の青年建築士と他県から2名の方が参加し、当支部からは亀田 青年委員長、渡邊 副委員長、山田 会員の3名が参加しました。

時間がない中での開催だったこともあり、挨拶も早々に参加者は配車されたバスに颯爽と乗り込み、上富良野支部青年委員をバスガイドに大正の大噴火の名残が残る風景をバスの車窓から眺めました。林道の奥地にある日本一の長さを誇る透過型堰では現地にて見学することができ、その構造物の巨大さに圧倒されました。

見学を終え会場に戻ったあと、各グループに分かれD I Gを行いました。D I Gとは地域の地図を用いて、地域の防災力と災害への強さ、弱さを認識し、今後、防災に対してどのように対応していく必要があるかを、参加者自身で十分に認識することを目的とした訓練です。大規模な噴火を想定し、時間の経過とともに発生するハプニングを処理しながら、地域の避難計画を作り上げる内容でした。

その夜に行われた懇親会では、地元のかみふらのポークを屋外のテントにて焼肉スタイルで堪能するとともに、多くの仲間と語り合うことができる貴重な時間となりました。



# 日高支部だより

2025. vol 5

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和7年 7月 12日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017

日高郡新ひだか町静内御幸町

1-1-42 静内産業土建㈱内

TEL 0146-42-1395

FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## 令和7年度支部事業 開催

～アポイ岳登山会開催～



登山の様子



山下 支部長＝挨拶



出発前の集合写真



渡邊 副青年委員長＝挨拶



懇親会の様子

7月5日（土）、本年が初開催となる支部事業「アポイ岳登山会」が様似町で開催され、支部会員14名と札幌支部1名、後志支部1名が参加しました。

過去恒例となっていたソフトボール大会が会員の減少及び高齢化に伴い、開催が困難となり、内容をパークゴルフに変更し事業を継続してきましたが、コロナ禍における参加者の減少が顕著な状況となりました。しかし、支部会員間における交流の場は必要であると判断し、事業を廃止せず「7月1日建築士の日」の支部事業として、世界ジオパーク認定の様似町アポイ岳で登山を実施する運びとなりました。

当日の登山参加者は日高支部3名、札幌支部1名、後志支部1名の計5名、登山をしない参加者はアポイ岳麓のキャンプ場でバーベキューによる懇親会準備のお手伝いとなりました。当日は天候にも恵まれ絶好の登山日和（大いに汗をかく参加者多数）。五合目、馬の背から眺める景色は山に海に素晴らしい景色でした。下山も怪我なく終えることができました。

登山終了後の懇親会では、次年度の開催に向けて前向きなご意見をいただくことができました。みなさま開催にあたっては奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

準備いただきました様似分会の皆様、本当にお疲れ様でした。



# 日高支部だより

## 2025.10.6

### Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和7年 9月26日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017  
日高郡新ひだか町静内御幸町  
1-1-42 静内産業土建㈱内  
TEL 0146-42-1395  
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## ～建築からソーシャルデザインへ～

～第67回（公社）日本建築士会連合会全国大会（おおさか大会）開催～



翌年開催地のPR＝ぐんま大会



大交流会の様子



式典の様子



大屋根リングの下＝大阪・関西万博



大阪市中央公会堂

9月19日（金）、第67回（公社）日本建築士会連合会全国大会（おおさか大会）が大阪府大阪市北区中之島にあるグランキューブ大阪で開催され、当支部から高橋 事務局長、亀田 青年委員長、外山 会員の3名が参加しました。

式典に先立ち、青年委員会セッション、女性委員会セッション、交流セッション、国際シンポジウム、大阪講演1、2、記念公演会が行われました。記念講演会ではドイツのベルリンを拠点とするクリスチャン・サンダー・チャージジヒ氏をお招きし、「循環経済と未来建築」をテーマにご講演いただきました。残念ながら航空機の都合、記念講演会を拝聴することができませんでしたが、本来ならばお高いであろう講演会をこのような形で拝聴する機会があることは非常に有意義なことです。来年以降全国大会に参加する支部会員におかれましては、時間の都合が許す限りご参加いただけると幸いです。

式典では、開催県である大阪建築士会の岡本会長が全国からの参加者ならびに多くのご来賓に謝意を述べ、表彰、閉会、次期開催地のPRとつながり行われました。

大交流会では北海道ブロックの席が用意され、久しぶりに再会する北海道のメンバーとの議論で交流をさらに深めました。

本大会翌日は大会公式エクスカージョンとして2025大阪・関西万博に参加。人の波に飲み込まれながらも貴重な体験となりました。

# 日高支部だより

2025. vol 7

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和7年 10月 4日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017

日高郡新ひだか町静内御幸町

1-1-42 静内産業土建欄内

TEL 0146-42-1395

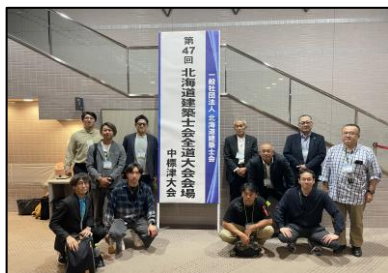
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## ～日いつる大地からのメッセージ～

～第47回（一社）北海道建築士会全道大会（中標津大会）開催～



集合写真



すごろく大意見交換会の様子



式典の様子



山岸 中標津支部長の挨拶＝懇親会



毛網建築の宿泊施設＝二次会

9月27日（土）、第47回（一社）北海道建築士会全道大会（中標津大会）が開催され、山下 支部長、村田 副支部長、高橋 事務局長、池 理事、森 理事、久保 理事、津山 理事、山本 会員、同青年委員会から、亀田 委員長、渡邊 副委員長、隅谷 幹事、山田 会員、外山 会員の13名が出席しました。

式典では、大会実行委員の山岸 中標津支部長が道内各支部からの参加者ならびに多くのご来賓に謝意を述べた上で「平成10年第24回全道大会以来27年ぶり、前回の大会テーマに思いを馳せて、本大会では日いつる大地からのメッセージを大会テーマに開催することとなりました。すごろくに参加された皆さんはこれまでの経験 考えを、そしてこれからの時代に向けての思いや考えについて、みづら言葉にさせていただいたことと思います。そこでの気づきが、私たち建築士会のこれから進む方向を示すきっかけになることに期待しております。」とあいさつした後、大会長である本間会長は、「魅力ある建築士会がどうあるべきか、参加してよかった、楽しかった、といえる建築士会は誰かがしてくれると待っているだけではなくてアイデアを出しあいながらこれからみんなで作り上げていきましょう。」とあいさつしました。続いて、北海道大学名誉教授で特定非営利活動法人歴史的地域資産研究機構代表理事などを務める角 幸博氏による「遺すことは創ること～歴史的建造物の維持保全と課題」と題した基調講演を拝聴しました。



# 日高支部だより

2025.11.8

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和7年 11月 1日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017

日高郡新ひだか町静内御幸町

1-1-42 静内産業土建㈱内

TEL 0146-42-1395

FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## 第3回道南ブロック協議会 開催

～「地方と都市部の空き家の現状とこれから」～



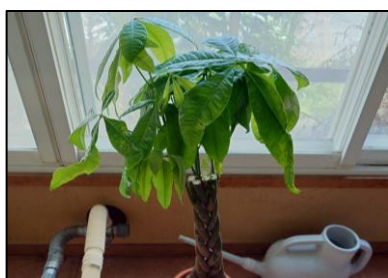
協議会の様子



道の駅を視察＝鹿部町



研修会の様子



藤原ブロック長退任の記念品＝パキラ



懇親会の様子

10月25日（土）、本年第3回目（第2回目はWEB）となる道南ブロック協議会が鹿部町及び七飯町、森町で開催され、渡邊 副青年委員長、隅谷 幹事、山田 会員、外山 会員の4名が出席しました。

会議に先立ち、鹿部町にある道の駅しかべ間歇泉公園にて合同による昼食後、当施設の視察、七飯町大沼にある大沼国際セミナーハウスでは空き家をテーマにした研修会が行われました。引き続き同じ会場で会議を行い、各支部の活動経過、計画の報告が行われました。

函館市における空き家問題は、人口減少・高齢化・建物老朽化などが背景となっており、放置される空き家が景観・防災・地域の持続可能性の観点から「地域課題」として認識されています。「活用できていない・放置されている建物」が地域の景観・安全・空気感に影響を与えており、「質」の側面を重視すべきです。特に西部地区のように観光価値・歴史価値が高い地域では、空き家が増えると「魅力の喪失」という二次被害が起きやすく、特別な対策が必要と考えます。市では「空き家除却支援補助金」等の補助制度があり、周知を強化しているところですが、「どうすればよいかわからない」「相談先がわからない」という声も少なくなく、情報提供・相談体制のさらなる充実が必要な状況です。

終了後には、リブマックスリゾート函館グリーンピア大沼で懇親会を開催し、さらに親睦を深めました。